

水中または水辺に生育する植物体を総称して「水生植物」と呼んでいます。水生植物による水質改善への効果は周知の事実ですが、その一方、水面を埋め尽くす程の異常繁殖や特定外来水生生物による生態系への影響も同時に考え、対応する必要があります。ダム湖等に大量に繁殖した水草に驚いた方も多いのではないのでしょうか。

また、環境保全に関心のある学生を対象に水質保全事業について学ぶ機会を設け、地域への情報発信を行っています。岐阜県大垣市においては、地元出身社員も多く、マシン整備工場が全国への発信基地となってフル稼働しています。社内外問わず、水質環境保全を担う人材の育成、地域の雇用創生に力を注いでおり、将来にわたって取り組んでいく覚悟をもっています。

株式会社テクアノーツは、「水域環境を守りたい」とその思いから、リムフロッジ（湖沼学）応用研究に基づき水域環境保全のために独自のアプローチを試み、実践してきました。その根幹となるのが、水草刈取りマシンの開発です。

特定外来生物と区分される植物のおよそ半分が水生植物に当たり、また、水草特有の繁殖スピードに対応する為には、人力除去では追いつかない場合があります。ニーズに合わせて研究開発を進め、様々な作業船の開発に成功し、主要な湖沼やため池において着実に実績を積んできました。

潜水だけじゃない  
テクアノーツのこれからに  
ご期待ください。

# 水域環境を整える



～大垣工業高等学校在校生の工場見学会～  
弊社の水質保全事業について  
学んでいただきました。  
詳細はこちら

